

MailGates - 【Microsoft 365】 OAuth 2.0 クライアントID設定

注意事項

- 本作業実施にあたり「リダイレクト URI」が必要です。開通通知書をご用意ください。
- Microsoft 365のグローバル管理者権限を持つアカウントで作業を行ってください。
- Microsoft Edgeで作業する場合、ブラウザのバージョンが古いとMicrosoft 365へのログインに失敗することがあります。
- Microsoft Azure の仕様変更等により、項目名称等が変更されている場合があります。
- Microsoft Azure の詳細についてはMicrosoft の公式ヘルプ情報等を参照ください。
- アプリ登録で作成したクライアントシークレットは、設定可能な有効期限が最大2年間までとなっているため、2年毎に更新する必要があります。有効期限を過ぎると、ログイン、受信に影響があるため、2年を過ぎる1~2ヶ月前までに更新していただくようお願い申し上げます。

OAuth クライアントID作成手順

OAuth クライアントID作成手順

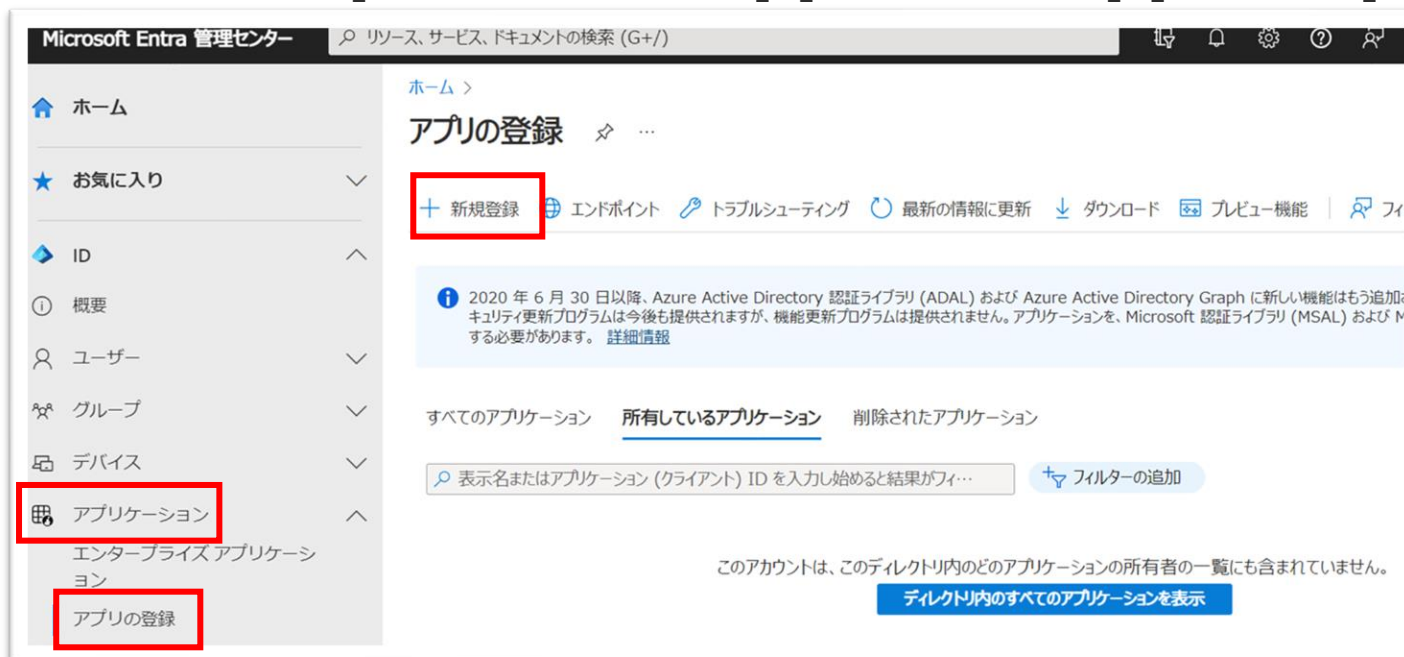
1. 管理者権限を持つアカウントでMicrosoft Entra へ以下URLからアクセスします。

<https://entra.microsoft.com/>

または、管理者権限を持つアカウントでMicrosoft Azure へ以下URLからアクセスします。

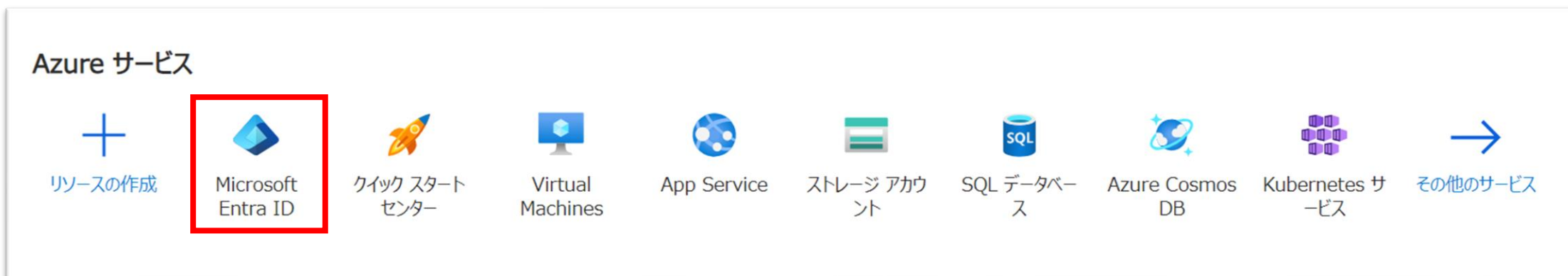
<https://portal.azure.com/>

2. Microsoft Entra の場合は[アプリケーション]-[アプリの登録]-[新規登録]の順にクリックします。



OAuth クライアントID作成手順

Microsoft Azure の場合は[Microsoft Entra ID]-[追加]-[アプリの登録]の順にクリックします。



OAuth クライアントID作成手順

3. 「名前」に「MAILGATESΣ」と入力します。
「この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント」を選択し、「登録」をクリックします。

Microsoft Azure

リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > サイバーソリューションズ >
アプリケーションの登録 ...

* 名前
このアプリケーションのユーザー向け表示名 (後で変更できます)。
MAILGATES Σ

サポートされているアカウントの種類
このアプリケーションを使用したりこの API にアクセスしたりできるのはだれですか?
 この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント (のみ - シングル テナント)
 任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント)
 任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント) と個人の Microsoft アカウント (Skype、Xbox など)
 個人用 Microsoft アカウントのみ

[選択に関する詳細...](#)

リダイレクト URI (省略可能)
ユーザー認証が成功すると、この URI に認証応答を返します。この時点での指定は省略可能で、後ほど変更できますが、ほとんどの認証シナリオで値が必要となります。
Web e.g. https://example.com/auth

続行すると、Microsoft プラットフォーム ポリシーに同意したことになります

登録

OAuth クライアントID作成手順

4.登録したアプリの「概要」にて「リダイレクトURIを追加する」をクリックします。



5. 「プラットフォームを追加」より「Web」を選択します。



OAuth クライアントID作成手順

6. 「リダイレクト URI」に開通通知書に記載の「Microsoft 365_リダイレクトURI1」を入力します。

リダイレクト URI

ユーザーの認証またはサインアウトに成功した後に認証応答 (トークン) を返すときに宛先として受け入れる URI。応答 URL とも呼ばれます。[リダイレクト URI と制限の詳細情報](#)

✓

7. 「アクセス トークン」 「ID トークン」のチェックを有効にし、「構成」をクリックします。

暗黙的な許可およびハイブリッド フロー

承認エンドポイントから直接トークンを要求します。アプリケーションにシングルページ アーキテクチャ (SPA) があり、承認コード フローを使用していない場合、または JavaScript で Web API を起動する場合は、アクセス トークンと ID トークンの両方を選択します。ハイブリッド認証を使用する ASP.NET Core Web アプリや他の Web アプリでは、ID トークンのみを選択します。[トークンの詳細情報](#)。

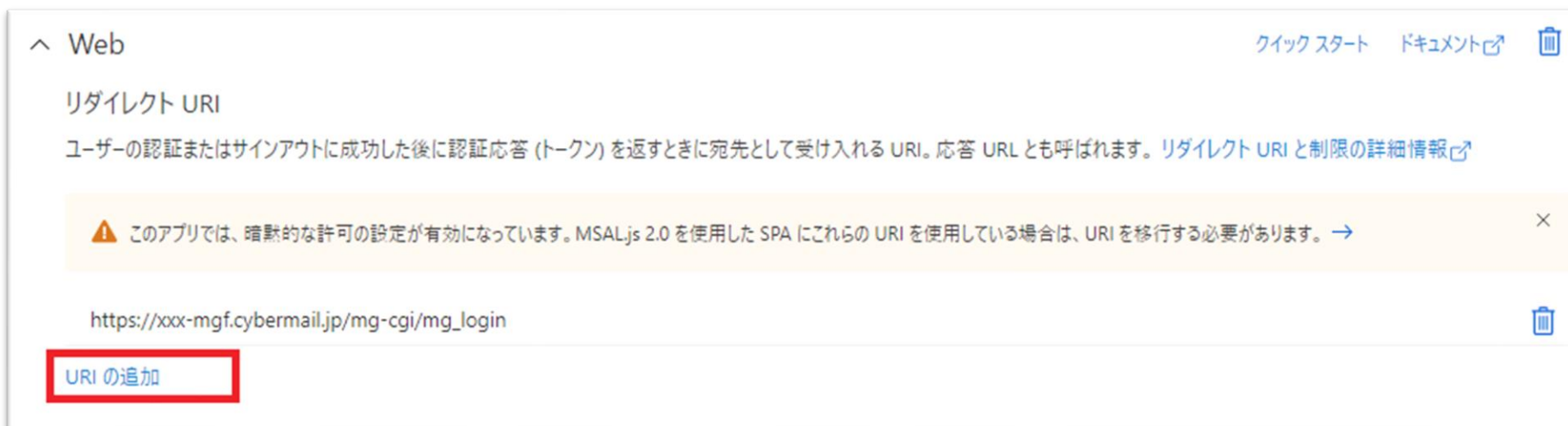
承認エンドポイントによって発行してほしいトークンを選択してください。

アクセス トークン (暗黙的なフローに使用)

ID トークン (暗黙的およびハイブリッド フローに使用)

OAuth クライアントID作成手順

8. 「URI の追加」より開通通知書に記載の「Microsoft 365_リダイレクトURI2」を追加します。
※複数ドメインご契約の場合、「Microsoft 365_リダイレクトURI2」をドメイン数分追加してください。



Web

リダイレクト URI

ユーザーの認証またはサインアウトに成功した後に認証応答 (トークン) を返すときに宛先として受け入れる URI。応答 URL とも呼ばれます。リダイレクト URI と制限の詳細情報

このアプリでは、暗黙的な許可の設定が有効になっています。MSAL.js 2.0 を使用した SPA にこれらの URI を使用している場合は、URI を移行する必要があります。 →

https://xxx-mgf.cybermail.jp/mg-cgi/mg_login

URI の追加

9. 「保存」をクリックします。



保存 破棄

OAuth クライアントID作成手順

10. 「概要」に戻り、「アプリケーション (クライアント) ID」をコピーしてメモ帳などに控えます。

すべてのサービス > サイバーソリューションズ株式会社 | 概要 >

MAILGATES Σ

検索 << 削除 エンドポイント プレビュー機能

概要

- クイックスタート
- 統合アシスタント

管理

- ブランド化とプロパティ
- 認証
- 証明書とシークレット
- トークン構成

基本

表示名
[MAILGATES Σ](#)

アプリケーション (クライアント) ID
7671e18

オブジェクト ID
d0f9d4

ディレクトリ (テナント) ID
ia0c41ca

サポートされているアカウントの種類
[所属オス組織のみ](#)

OAuth クライアントID作成手順

11. 「証明書とシークレット」へ移動し[クライアントシークレット]-[新しいクライアントシークレット]の順にクリックします。

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

アプリロール

所有者

証明書 (0) **クライアントシークレット (0)** フェデレーション資格情報 (0)

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーション パスワードと呼ばれることもあります。

+ 新しいクライアントシークレット

説明	有効期限	値①	シークレット ID
このアプリケーションのクライアントシークレットは作成されていません。			

12. 「説明」にMAILGATES Σと入力し「有効期限」に「24か月」を選択して「追加」をクリックします。※24か月（2年）ごとに更新作業が必要です。

クライアントシークレットの追加

説明

有効期限

OAuth クライアントID作成手順

13. 作成したクライアントシークレットの「値」をコピーし、メモ帳などに控えます。

証明書 (0) クライアントシークレット (1) フェデレーション資格情報 (0)

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーション パスワードと呼ばれることもあります。

+ 新しいクライアントシークレット

説明	有効期限	値 ①	シークレット ID
MAILGATES Σ	2026/3/5	[Redacted] H-00...	[Redacted] fc9af... [Copy] [Delete]

14. 「API のアクセス許可」へ移動し「アクセス許可の追加」をクリックします。

管理

- ブランド
- 認証
- 証明書とシークレット
- トークン構成
- API のアクセス許可**
- API の公開
- アプリのロール | プレビュー
- 所有者
- ロールと管理者 | プレビュー
- マニフェスト

構成されたアクセス許可

アプリケーションは、同意のプロセスの一環としてユーザーが管理者からアクセス許可が付与されている場合、API を呼び出すことが承認されます。構成されたアクセス許可の一覧には、アプリケーションに必要なすべてのアクセス許可を含める必要があります。 [アクセス許可と同意に関する詳細情報](#)

+ アクセス許可の追加 サイバーソリューションズに管理者の同意を与えます

API / アクセス許可の名前	種類	説明	管理者の同意が必要	状態
▼ Microsoft Graph (1)				
User.Read	委任済み	Sign in and read user profile	いいえ	...

アクセス許可とユーザーの同意を表示および管理するために、[エンタープライズ アプリケーション](#)をお試しください。

OAuth クライアントID作成手順

15. Microsoft Graphをクリックします。

The screenshot shows the 'API Access Permissions Requirements' page in the Azure portal. The left sidebar contains navigation options for 'MAILGATES Σ | API のアクセス許可'. The main content area is titled 'API アクセス許可の要求' and includes a search bar, a refresh button, and a list of APIs. The 'Microsoft Graph' API is highlighted with a red box. Below it, several other APIs are listed, including Azure Rights Management Services, Azure Service Management, Azure Storage, Dynamics CRM, Intune, and Office 365 Management APIs.

すべてのサービス > サイバーソリューションズ株式会社 | 概要 > MAILGATES Σ | API のアクセス許可

API アクセス許可の要求

API を選択します

Microsoft API 所属する組織で使用している API 自分の API

よく使用される Microsoft API

Microsoft Graph
Office 365、Enterprise Mobility + Security、Windows 10 の大量のデータを活用しましょう。Microsoft Entra ID、Excel、Intune、Outlook/Exchange、OneDrive、OneNote、SharePoint、Planner などに単一エンドポイント経由でアクセスできます。

Azure Rights Management Services
検証済みのユーザーに、保護されたコンテンツの読み取りと書き込みを許可します

Azure Service Management
Azure portal で利用できる機能の大部分へのプログラムによるアクセス

Azure Storage
非構造化データと半構造化データのための安全で非常にスケーラブルなオブジェクトおよびデータレイクのストレージです

Dynamics CRM
CRM ビジネス ソフトウェアと ERP システムの機能にアクセスします

Intune
Intune データへのプログラムによるアクセス

Office 365 Management APIs
Office 365 と Microsoft Entra ID のアクティビティ ログからユーザー、管理者、システム管理者の操作に関する情報を取得します

OAuth クライアントID作成手順

16. [Group.Read.All]を検索し、チェックを入れて[アクセス許可の追加]をクリックします。

API アクセス許可の要求

< すべての API

Microsoft Graph
https://graph.microsoft.com/ [ドキュメント](#)

アプリケーションに必要なアクセス許可の種類

委任されたアクセス許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーとして API にアクセスする必要があります。

アプリケーションの許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーなしで、バックグラウンド サービスまたはデーモンとして実行されます。

アクセス許可を選択する [すべて展開](#)

Group.Read.All

アクセス許可 管理者の同意が必要

Group (1)

アクセス許可	同意
<input checked="" type="checkbox"/> Group.Read.All (1) Read all groups	はい

アクセス許可の追加 破棄

OAuth クライアントID作成手順

17.[User.Read.All]を検索し、チェックを入れて[アクセス許可の追加]をクリックします。

API アクセス許可の要求

< すべての API

Microsoft Graph
https://graph.microsoft.com/ [ドキュメント](#)

アプリケーションに必要なアクセス許可の種類

委任されたアクセス許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーとして API にアクセスする必要があります。

アプリケーションの許可
アプリケーションは、サインインしたユーザーなしで、バックグラウンド サービスまたはデーモンとして実行されます。

アクセス許可を選択する [すべて展開](#)

User.Read.All

アクセス許可 管理者の同意が必要

> IdentityRiskyUser

▼ User (1)

User.Read.All ⓘ
Read all users' full profiles はい

アクセス許可の追加 破棄

OAuth クライアントID作成手順

18. 「管理者の同意を与えます」をクリックします。

19. 必要なアクセス許可の状態が緑のチェックになっていることを確認します。
(画像のサイバーソリューションズ株式会社の部分には、お客様の組織名が入ります)

API / アクセス許可の名前	種類	説明	管理者の同意が必要	状態
+ アクセス許可の追加				
✓ サイバーソリューションズ株式会社 に管理者の同意を与えます				
▼ Microsoft Graph (3)				
Group.Read.All	アプリケ...	Read all groups	はい	✓ サイバーソリューションズ株...
User.Read	委任済み	Sign in and read user profile	いいえ	✓ サイバーソリューションズ株...
User.Read.All	アプリケ...	Read all users' full profiles	はい	✓ サイバーソリューションズ株...

20. クライアント作成手順は以上で終了です。

Microsoft 365のユーザリストを MAILGATES Σへインポート

Microsoft 365のユーザリストをMAILGATES Σへインポート

1. 開通通知書に記載のアクセスURLからMAILGATES Σにアクセスします。
2. 「Sign in with Microsoft」をクリックし、ドメイン管理者でログインします。
※Microsoft 365へログインする時と同じユーザ名・パスワードを指定します。

MailGates

MailGates
メールアドレスとパスワードを入力してください。

メールアドレス

パスワード

管理者としてログイン

ログイン

>>SAML 認証

 Sign in with Microsoft

Microsoft 365のユーザリストをMAILGATES Σへインポート

3. 管理者モード > 管理 > ユーザ・グループ設定 > OAuth 認証設定 へ移動します。
4. アプリケーションID、クライアントシークレットを入力し「認証」をクリックします。
アプリケーションID : OAuth クライアントID作成手順の手順10でコピーした値
クライアントシークレット : OAuth クライアントID作成手順の手順13でコピーした値

The screenshot shows the MailGates administrator interface. The top navigation bar includes 'ログ/統計', 'メールセキュリティ', 'メール審査', '管理', and '送信機能管理'. The user is logged in as 'admin@sp.cmss-m.cyberc...'. The left sidebar contains various management options, with 'OAuth 認証設定' highlighted. The main content area is titled 'Microsoft 365 認証設定' and contains two input fields: 'アプリケーションID' (value: 7671e18) and 'クライアントシークレット' (value: lqAEH4WqVy5f). Below these fields, a status message reads 'Microsoft 365にログインし、アクセス権限を設定 : 認証成功 (最終更新 : 2024/03/05 17:57:30)'. A blue '認証' button is visible next to the status message. At the bottom of the form, there is a blue '保存' button. The footer of the page contains the copyright notice: 'Copyright © CyberSolutions, Inc. All rights reserved.'

Microsoft 365のユーザリストをMAILGATES Σへインポート

5. 「接続」をクリックします。

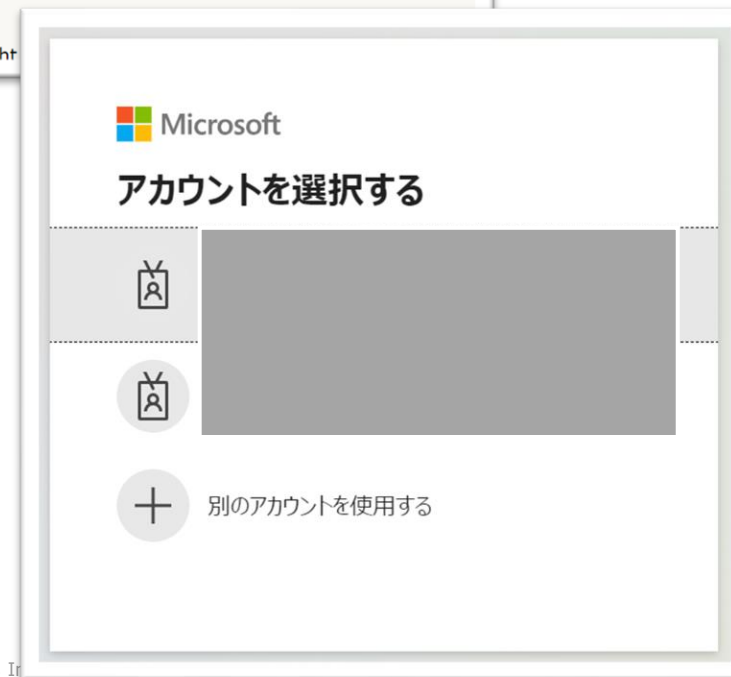


The screenshot shows the MailGates management interface in '管理者モード' (Admin Mode). The navigation menu includes 'ログ/統計', 'メールセキュリティ', 'メール審査', '管理', and '送信機能管理'. The '管理' (Management) section is active, displaying 'Microsoft 365 認証設定' (Microsoft 365 Authentication Settings). The form contains the following fields:

- アプリケーションID: 1e18
- クライアントシークレット: E4H4WqVy5f
- Microsoft 365にログインし、アクセス権限を設定: **接続** (highlighted with a red box)

A '保存' (Save) button is located at the bottom right of the form.

6. Microsoft 365のログイン画面が表示されるので、ドメイン管理者アカウントでログインします。



The screenshot shows the Microsoft 365 login screen with the title 'アカウントを選択する' (Select an account). The Microsoft logo is at the top left. Below the title, there are two account selection options, each with a user icon and a blurred name, and a third option with a plus sign and the text '別のアカウントを使用する' (Use another account).

Microsoft 365のユーザリストをMAILGATES Σへインポート

7. MAILGATES Σ がMicrosoft 365 から情報を取得することに関するOAuth 同意画面が表示されます。
内容を確認のうえ、「承諾」をクリックします。

※ 承諾を押した際に、「サインイン中に問題が発生しました」と表示された場合、リダイレクトURIの設定に誤りがあります。
ハイフンなど記号が抜けていないか、
不要なスペースが含まれていないかなど、再確認ください。



Microsoft

jp

要求されているアクセス許可

組織のレビュー

MAILGATES Σ

jp

このアプリケーションは Microsoft によって公開されたものではありません。

このアプリに必要なアクセス許可:

- ✓ Sign in and read user profile
- ✓ Read all groups
- ✓ Read all users' full profiles

同意すると、このアプリは組織内のすべてのユーザーの指定のリソースにアクセスできるようになります。これらのアクセス許可の確認を求めるメッセージは、他のユーザーには表示されません。

これらのアクセス許可を受け入れることは、サービス利用規約とプライバシーに関する声明で指定されているとおりにこのアプリがデータを使用することを許可することを意味します。これらのアクセス許可は <https://myapps.microsoft.com> で変更できます。 [詳細の表示](#)

このアプリは疑わしいと思われませんか? [こちらでご報告ください](#)

キャンセル 承諾

Microsoft 365のユーザリストをMAILGATES Σへインポート

8. [OAuth 同意画面]からMAILGATES Σの[OAuth 認証設定]へリダイレクトされます。
ユーザリストインポートに成功した場合、画像のように表示されます。



Microsoft 365にログインし、アクセス権限を設定： 認証成功 (最終更新： [redacted]) 認証

※認証が完了しない場合、APIアクセス許可・クライアントシークレット/IDに誤りが無いか再確認ください。

クライアントシークレットに関するよくあるご質問

Q

クライアントシークレットの期限が切れた場合、どのような影響がでますか？

A

- ・ ログイン
全てのユーザのログインが不可能となります。
- ・ 受信
有効期限が切れる前までに登録されているユーザであれば受信できますが、有効期限が切れた後に登録したユーザは受信ができません。
- ・ 送信
送信には影響がありません。

クライアントシークレットに関するよくあるご質問

Q

クライアントシークレット更新期限が近付いた際、通知はありますか？

A

通知はございません。お客様側で2年ごとの更新管理をお願いします。
更新手順は弊社FAQページをご参照ください。